

御浜町教育大綱

御浜町は三重県南部の東紀州地域に位置し、特産品のみかんが豊富に収穫され、「年中みかんのとれるまち」として名高い温暖で風光明媚な土地である。

また、町内には世界遺産の熊野古道などの史跡や名勝が数々あり、神々が宿る悠久の歴史と自然に育まれた豊かな土地柄で、その恵みの中で伝統文化が継承され、新しい文化が創り出されている。

第5次御浜町総合計画に基づき、「健全な心を育む教育・文化の町づくり」を基底として、学校教育、家庭教育、社会教育が密接に連携しながら教育・文化・スポーツ活動を推進し、児童・生徒には確かな学力と豊かな人間性を育み、町民全体には深く豊かな人間性を備えた活力ある人と町の創造を目指す。

学校教育

- 学力の向上と豊かな人間性の育成を目指し「豊かな学び」の理念に基づき、開かれた学校において子ども達が互いに学び合う学校を目指す。
- 教師が学び合いながら、高質の授業力を身につける学校を目指す。
- 保護者や地域住民が教育活動に参画し、互いに学び合う学校を目指す。
- 子供が安心して安全に過ごすことができる学校を目指す。

家庭教育

- 支え合い、心ふれあう家族との交流を大切にし、子どもが身につけなければならない社会的マナーやルールを、しっかりと身につけられるよう家庭教育の充実を目指す。
- 家庭においても児童・生徒が自ら主体的に学ぶ意欲や態度を育み、家庭と学校と地域が密接に連携・協力しながら、確かな学力と豊かな人間性に富んだ児童・生徒の育成を目指す。

社会教育

- 生き甲斐や満足度の高い暮らしを支える文化とスポーツの振興を目指す。
- 地域に伝わる伝統芸能・文化を地域や町の誇りとして継承・発展を目指す。
- 町民が御浜町を愛し、御浜町に誇りを持ちながら豊かな人生を送れるよう、地域や町内において温かな交流の輪の形成を目指す。
- 青少年が健全に育成されるまちづくりを目指す。